

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成25年6月27日(2013.6.27)

【公開番号】特開2012-247947(P2012-247947A)

【公開日】平成24年12月13日(2012.12.13)

【年通号数】公開・登録公報2012-053

【出願番号】特願2011-118446(P2011-118446)

【国際特許分類】

G 07 D 9/00 (2006.01)

B 65 H 31/26 (2006.01)

【F I】

G 07 D 9/00 405 B

G 07 D 9/00 403 G

G 07 D 9/00 403 E

B 65 H 31/26

【手続補正書】

【提出日】平成25年5月14日(2013.5.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

【図1】本発明の実施例1に係る紙幣入出金装置を備えたATM(automated teller machine)(本体装置)の構成を模式的に示す断面図である。

【図2】実施例1に係る紙幣入出金装置の拡大図である。

【図3】(a),(b),(c)は実施例1に係る紙幣入出金装置の整列レバーとステージプレートとの関係を示す図である。

【図4】(a),(b)は実施例1に係る紙幣入出金装置のフィードローラ、セパレータ、搬送ローラ、部分羽根車の位置関係を示す図である。

【図5】実施例1に係る紙幣入出金装置の各部の動作を制御する制御部と制御部によって制御される処理タスクのブロック図である。

【図6】(a),(b)は実施例1に係る紙幣入出金装置の入金処理時における各部の動作状態を示す図(その1)である。

【図7】実施例1に係る紙幣入出金装置の入金処理時における各部の動作状態を示す図(その2)である。

【図8】(a),(b)は実施例1に係る紙幣入出金装置の出金処理時における各部の基本動作を示す図である。

【図9】(a),(b),(c)は実施例1に係る紙幣入出金装置の出金処理時における整列レバーの機能について説明する図である。

【図10】実施例1に係る紙幣入出金装置の出金時において例えばユーロ紙幣などのように額面に応じて紙幣幅サイズの異なる紙幣を一時集積部に集積させる場合の整列レバーの回動を制御する処理のフローチャートである。

【図11】(a),(b)は図10の処理における整列レバーの回動動作を示す図である。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0075

【補正方法】変更

【補正の内容】**【0075】**

制御部40は、紙幣が一枚集積される毎に、収納部4からの出金依頼枚数に対応する紙幣の繰り出しが完了したか否かを判別する(ステップS7)。そして、まだ完了していない場合は(S7の判別No)、ステップS2に戻って、出金処理のシーケンスを繰り返す。

【手続補正3】**【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0081****【補正方法】変更****【補正の内容】****【0081】**

この後も、制御部40は、紙幣が一枚集積される毎に、ステップS7で収納部4からの出金依頼枚数に対応する紙幣の繰り出しが完了したか否かを判別し、完了していない場合は、ステップS2に戻って、出金処理のシーケンスを繰り返す。

【手続補正4】**【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0083****【補正方法】変更****【補正の内容】****【0083】**

そして、ステップS7の判別で、収納部4からの出金依頼枚数に対応する紙幣の繰り出しが完了していれば、出金処理を終了する(ステップS10)。出金処理を終了すると、フィードローラ26、搬送ローラ28、セパレータ27、部分羽根車29等の回転系は回転を停止する。